

# 薬事協会報

2020.6 No.240



公益社団法人 東京薬事協会



酒列磯前（さかつらいそさき）神社の拝殿天井の格子絵 手前右側が当協会からの贈呈絵です。

# 令和元年度事業報告と収支決算について

令和元年度の事業報告は令和2年6月1日の書面による理事会で承認されました。

## 1. 事業の概要

### —公益目的事業—

#### (1) 薬業の向上発展に関する調査研究 (第1項)

薬事史に関する調査研究、資料収集

薬に関する歴史、薬事知識向上のため、薬事史に関する調査・収集を行い、下記に示す薬事ならびに薬事史を広く都民への普及に努めた。

会員、製薬会社等から提供された薬事に関する古文書等を調査・収集は1部であり、これらをホームページで中央区民文化財である薬種商関連文書(40部)と蔵書(630部)の追録として公開しました。その他東京都・厚生労働省・関係団体発行の情報誌を収集した。

#### (2) 地域社会に対する薬事知識の啓発 (第2項)

##### ① 一般用医薬品に関する普及啓発イベント

令和元年10月4日(金)12時～19時、5日(土)10時～16時の両日にわたり日本橋室町の福德の森および江戸桜通り地下歩道において「よく知って、正しく使おう OTC 医薬品」と題して、OTC 医薬品の普及啓発イベントを開催した。

本イベントでは5日には小池東京都知事のご視察もあり約1.2万人の来場者がありました。アンケートコーナー、模擬店コーナー、調剤体験コーナー、セルフメディケーションデータセンター等を設けた。

本イベントは、主催：公益社団法人東京薬事協会、公益社団法人東京生薬協会、公益社団法人東京都薬剤師会、公益社団法人東京都医薬品登録販売者協会、日本 OTC 医薬品協会、日本家庭薬協会、後援：厚生労働省、東京都、日本薬科大学、東京商工会議所、協賛：くすりの適正使用協議会、出展会社は、浅田飴、イワキ、太田胃散、小林製薬、佐藤製薬、三宝製薬、ゼリア新薬工業、ツムラ、龍角散等、東京薬事協会会員企業を含む合計30社であった。

##### ② 薬用植物の知識の普及啓発運動 (東京都薬用植物園ふれあいガーデン草星舎)

東京都薬用植物園の敷地(400m<sup>2</sup>)を借用して医薬品に関する正しい知識を広く浸透させ、都民の保健衛生の維持向上に寄与した。令和元年度東京都薬用植物園入場者数は118,481人(前年実績123,779人)であった。

### イ. 薬草収穫感謝の会

令和元年11月9日(土)東京都薬用植物園内(10時～15時)において、薬草収穫感謝の会が開催されました。本イベントは、主催：(公社)東京薬事協会・(公社)東京生薬協会・本町生薬会・(公社)東京都薬剤師会、共催：東京都により開催されたものです。

講演会「はじめよう、薬膳生活」

122名の方が熱心に聴講されました。

時間 10:40～11:40

講師 原三貴(イスクラ産業株式会社 信頼性保証室長)

当健康講座終了後は4班に分かれ東京生薬協会学術委員による薬草園見学会を行いました。

当日は1,644名の来園者があった。参加者にはハーブ茶を試飲していただき、おかめ笹、神壺と屠

蘇散及び花の苗を提供した。

ロ. 薬草の栽培、薬用植物等の正しい知識や使い方に関する季節イベント

公益社団法人東京薬事協会、公益社団法人東京生薬協会、北部緑地株式会社との共同事業体の「ふれあいガーデン草星舎」において、薬用植物とのふれあいを通じて都民に心豊かな市民生活を送っていただくために下記イベント（12回参加者518名）を開催した。

令和元年 月 日	イベント	講師	参加人数
4月 6日(土)	世界の伝統薬	東京生薬協会学術委員長 山内 盛さん	57
4月13日(土)	春のハーブ	ハーブ研究家 小泉 美智子さん	27
4月20日(土)	ハーブの故郷を訪ねて	東京生薬協会 池村 国弘さん	58
5月25日(土)	リース初夏の装い	アトリエ clover 主謀 田淵 清美さん	30
6月 1日(土)	もっと楽しめる薬用植物園	趣味の園芸元編集長 出澤清明さん	66
6月15日(土)	香りを楽しむ	ジャパンハーブソサイティ理事 鈴木 悦子さん	23
7月 6日(土)	サマーハーブ	ハーブ研究家 小泉 美智子さん	30
10月 5日(土)	草木で染める	園芸研究家 山 浩美さん	30
10月19日(土)	秋から冬のアレンジ	アトリエ clover 主謀 田淵 清美さん	29
11月 2日(土)	落語に見る食の風景 その4	落語&料理研究家 一升亭吞介さん	65
11月16日(土)	食養講座 旬と出汁	料理プロガー 山上 勉さん	40
11月23日(土)	今日から使える薬草力	野草研究家 山下智道さん	63

③ 薬用植物生け花・標本展

令和元年10月17日（木）東京薬事協会会議室において東京都薬用植物園との共催で薬用植物生け花・標本展を地域の文化活動の一環として開催した。多数の薬草と、それに関連した標本を会員会社の株式会社金原市兵衛商店から提供していただき展示した。

薬用植物生け花展は東京都薬用植物園から提供の薬草を用いて会員会社の社員（興和株式会社、イワキ株式会社、草星舎）により8鉢の出展があった。同時に東京都薬用植物園から薬草の説明用パネル7枚を借用して展示した。

④ リーフレット・小冊子等の配布事業

一般社団法人くすりの適正協議会製作 公益社団法人日本薬剤師会監修の「くすりは正しく使ってこそくすり！」を配布した。

イ. 中央区教育委員会小学校 16校へ3,490部

ロ. 千代田区教育委員会小学校 8校へ1,610部

ハ. 中央区クリーンデーでの配布

中央区は5月30日にゴミゼロの日（ゴミゼロの語呂合わせ）としてクリーンデーを実施しています。令和元年5月30日（木）、東京薬事協会として15回目の「ゴミゼロの日・清掃活動」を実施いたしました。

当日は大変良い天気で、10時30分に東京薬事協会会議室に集合し、開催の挨拶の後、中央区 環境土木部 環境推進課 環境活動係の長森係長、ならびに東京薬事協会 金原副会長からの挨拶と当日の注意事項を聞いたのち、担当地域に分かれ、班長を先頭にスタートしました。当日は一般社団法人くすりの適正使用協議会および公益社団法人 日本薬剤師会 学校薬剤師部会が制作した「くすりは正しく使ってこそくすり！」の小冊子を配布していただきました。

参加会員はイワキグループ（イワキ、岩城製薬）（27名）、金原市兵衛商店（2名）、関東化学

(12名)、国産化学(3名)、小堺化学工業(1名)、塩野義製薬(1名)、第一薬品産業(2名)、武田薬品工業(1名)、田辺三菱製薬(2名)、中外製薬(8名)、東京化成工業(1名)、鳥居薬品(10名)、日本理化学薬品(3名)、持田製薬(2名)、龍角散(2名)合計15社、77名でした。(50音順)

⑤ ホームページ維持・管理、協会報発行

イ. ホームページ維持・更新

公益法人として実施した公益事業等を広報するため、ホームページトップの「公益活動報告」欄を通して諸活動の内容を速やかに記載、その参考資料等も併せて収載し、公益性を広く知らしめた。また、「受講・管理帳簿申込」欄ではイベント等を解り易い内容で記載した。

ロ. 協会報の発行

6月号300部、10月号(薬祖神祭特集号)800部、新年号500部の年3回発行し、非会員についても100部を拡大して配布した。各号に公益事業の活動状況、薬事・薬物知識に関する啓発活動の記事から文化教養の記事まで幅広く収載し、会員と共に都民に広く知らしめた。

(3) 薬事に関する講習会等の開催(第4項)

① 第165回 令和元年度第1回 薬事講習会

日時 令和年9月9日(月) 14:00~16:40

場所 東京薬業健康保険組合 薬業健保会館6階講堂

演題・講師

(1) 薬機法改正について

東京都福祉保健局健康安全部薬務課長

早乙女 芳明氏

(2) 東京都の薬物乱用対策について

東京都福祉保健局健康安全部薬務課課長代理(麻薬対策担当)

梅 沢 誠 氏

(3) 毒物劇物の取り扱いについて

東京都福祉保健局健康安全部薬務課課長代理(毒劇物指導担当)

築 島 京子 氏

※当日は会員49名、非会員69名、合計118名が熱心に聴講されました。

② 第166回 令和元年度 第2回 薬事講習会

日時 令和2年2月21日(金) 14:00~16:40

場所 東京薬業健康保険組合 薬業健保会館6階講堂

演題・講師

(1) 東京都における製造販売業調査について~GVP調査を中心に

東京都健康安全研究センター広域監視部薬事監視指導課 医薬品第一区担当 細田 拓矢 氏

(2) 毒物劇物製造業・輸入業の申請について~事務移管を中心に

東京都健康安全研究センター広域監視部薬事監視指導課 薬事審査担当 主任 芝野 ゆう 氏

(3) 環境水中の医薬品について

東京都健康安全研究センター薬事環境科学部 環境衛生研究科 主任研究員 小杉 有希 氏

※当日の参加者は82名(会員38名、非会員44名)でした。

③ 令和元年度 第1回公開健康講座の開催について

令和元年11月9日(土)東京都薬用植物園内(10時~15時)において、薬草収穫感謝の会で公開健康講座が開催されました。主催:(公社)東京薬事協会・(公社)東京生薬協会・本町生薬会・(公社)東京都薬剤師会、共催:東京都により開催されたものです。

講演会「はじめよう、薬膳生活」 122名の方が熱心に聴講されました。

時間 10:40～11:40

講師 原三貴（イスクラ産業株式会社 信頼性保証室長）

当健康講座終了後は4班に分かれ東京生薬協会学術委員による薬草園見学会を行いました。

当日は1,644名の来園者があった。参加者にはハーブ茶を試飲していただき、おかめ笹、神壺と屠蘇散及び花の苗を提供した。

#### (4) 奨学金の給付（第5項）

本奨学金の目的は「東京都内にある大学の薬学部で、健康かつ学業優秀でありながら、経済的に就学が困難な者に奨学金の給付を行い、将来、薬業界に貢献しうる人材を助成する。」であり、年間30万円の給付を実施している。

本年度は本制度の開始から第7年目の給付であり、令和元年7月17日（水）に行われた奨学生選考委員会において新たに認定された奨学生2名および前年までの奨学生2名合計4名の奨学生の贈呈式を行いました。

奨学金は前期奨学金を令和元年8月29日（木）、後期奨学金は令和2年3月18日（水）の2回にわたり、岩城会長より直接贈呈された。

### 一収益事業一

#### (1) 薬事関係法規の研究（第3項）

管理帳簿、自己点検による薬務管理簿の販売

「医薬品卸売・店舗販売業」の管理帳簿、「高度管理医療機器等販売・賃貸業」の管理帳簿を頒布した。医薬品医療機器等法及び毒物・劇物取締法に基づく頒布実績は医薬品管理帳簿2,154部（2,429部）、高度医療機器等販売業・貸与業管理帳簿745部（737部）、表示シール27社115枚（27社106枚）であった。厚生労働省通知に基づく営業所・店舗の自己点検推進（年2回）については、ガイドラインに従って、医薬品卸売販売業用自己点検表105部、毒劇物一般販売業用自己点検表64部を会員に頒布した。

〔（ ）は平成30年度実績〕

#### ◆医薬品販売業 管理帳簿

区分	会社数	頒布総数	うち窓口頒布数	価格
会員	50社(68社)	184部(249部)	24部(22部)	1,250円
非会員	573社(605社)	1,970部(2,180部)	132部(146部)	1,650円

#### ◆高度管理医療機器等販売業・貸与業 管理帳簿

区分	会社数	頒布総数	うち窓口頒布数	価格
会員	10社(10社)	37部(71部)	8部(6部)	1,000円
非会員	181社(176社)	708部(666部)	29部(38部)	1,200円

#### (2) 薬貿ビルの管理運営（第6項）

##### ① 貸会議室の運営・管理

本年度の公益団体・薬業団体の利用件数は会員会社17社、非会員会社3社でした。

稼動日＝234日

会議室名	午前 稼働回数・稼働率	午後 稼働回数・稼働率
201	47 21%	112 50%
202	35 15%	70 31%
203	17 7%	76 34%
204	43 19%	95 43%
合計	142	353

無料貸出は15回で内訳は町会等3回、本町句会6回、OTC福徳の森イベント実行委員会5回、昭和薬貿ビル管理組合1回であった。

② 3階貸室の管理業務

3階の事務所は一般社団法人日本試薬協会と定期建物賃貸借契約を平成31年3月1日～令和2年2月28日の期間で締結している。

③ 昭和薬貿ビルの管理業務

令和元年5月23日(木) 昭和薬貿ビル管理組合の監査会および総会を開催した。平成30年度の事業報告、決算報告が承認され、同時に令和元年度事業計画案、収支予算案及び役員の変更案も了承された。

また、共用部分の維持管理については日常業務において速やかに対応している。

—共通事業—

会員への行政通知の伝達(第3項)

東京薬事協会会長宛の行政通知は、即日に全文ホームページに掲載し、紙媒体要請の会員13社には1週間以内にコピーを送付、早期伝達を実施した。

行政通知受理分についてはホームページに1年分、原文は2年分を保存している。

行政通知	件数
東京都福祉保健局健康安全部長発	129件
東京都福祉保健局他	4件
厚生労働省医薬生活衛生局 総務課長発	4件
厚生労働省医薬生活衛生局 審査管理課課長発	2件
厚生労働省医薬生活衛生局 安全対策課長発	3件
厚生労働省医薬生活衛生局 医療機器審査管理課課長発	8件
厚生労働省医薬生活衛生局 医薬品審査管理課課長発	77件
厚生労働省医薬生活衛生局 医薬安全対策課課長発	27件
厚生労働省医薬生活衛生局監視指導・麻薬対策課長発(事務連絡含む)	13件
医薬衛生局、医政局他	39件
令和元年度 合計	306件

(参考:平成30年度合計:305件)

② 薬祖神社維持管理業務

令和元年10月17日(木)(13時30分～18時30分)福徳の森の薬祖神社例大祭を各企業の祭典委員および日本橋本町三丁目西町会との共催で執り行った。上野・五條天神社 始澤宮

司を齋主とし、式典ののち一般参拝も行われ、当日の参拝者は2, 657名であった。参拝者には福袋とともにお汁粉1, 700杯を振舞った。

### ③ 新年賀詞交歓会

イ. 令和2年1月7日(火)12時から恒例の歴代会長の写真を飾った会場で、ご来賓、会員合わせて100名以上の皆さまにご参加をいただき、新年賀詞交歓会を開催いたしました。

中島副会長の司会進行で岩城会長の挨拶に続いて中央区長山本泰人様、東京都福祉保健局 食品医薬品安全担当部長花本由紀様、警視庁中央警察署菅原明彦様、公益社団法人 日本薬剤師会会長 山本信夫様からご祝辞をいただきました。

また、日頃より東京薬事協会及び地域社会のためにご指導・ご支援いただいております東京都健康安全研究センター広域監視部長 仁科彰典様、企画調整部長 廣瀬豊様、日本橋本町三丁目西町会会長 橋本泰蔵様、日本橋本町二丁目自治会長 小西茂之様、日本橋本町四丁目東町会町会長 小林丈夫様をご紹介させていただきました。引き続き、江戸消防記念会第一区二番組による「江戸木遣り」をご披露していただきました。薬業団体を代表して日本製薬団体連合会理事 宮島俊彦様による乾杯のご発声をいただきました。

新年賀詞交歓会は和やかに歓談が進み、午後1時過ぎには金原副会長の中締めにてお開きとなり、業界で最初の賀詞交歓会を滞りなく開催することができました。

当日のご出席者は会員と合わせて約100名の参加であった。

ロ. 東京薬業四団体(公益社団法人東京薬事協会、公益社団法人東京医薬品工業協会、一般社団法人東京医薬品卸業協会、東京都家庭薬工業協同組合)主催の新年賀詞交歓会が令和2年1月8日(水)12時よりザ・プリンスパークタワー東京「コンベンションホール」にご来賓、受賞者の方々を含め多くの方々を迎えて開催されました。

最初に主催四団体を代表して東京医薬品工業協会 樋口達夫会長の新年ご挨拶に続き、厚生労働大臣政務官 小島 敏文様、東京都福祉保健局 食品医薬品安全担当部長 花本 由紀様、厚生労働大臣政務官の自見 はなこ様、参議院議員の藤井 基之様からご挨拶を頂戴いたしました。その後、平成31年度薬事功労受賞者祝賀行事では受賞者が紹介され、祝品の贈呈ののち、受賞者を代表して元第一三共株式会社 代表取締役社長 庄田 隆様が謝辞を述べられました。そののち、受賞者、ご来賓の皆様のご健勝と四団体の発展を祈念して東京都家庭薬工業協同組合 塩澤太郎理事長による乾杯のご発声により祝宴が始まり、賀詞交歓会と薬事功労者祝賀行事は大いに盛り上がりました。

当日のご出席者は会員と合わせて約750名の参加であった。

### ④ 本町生薬会技術部会支援について

生薬の検査技術の向上と品質・規格の確保について継続的に支援を行っている。

## 2. 庶務の概要

### ① 協会の規模

会員数	83社	令和元年3月31日現在	
退会	2社	興和新薬株式会社	令和元年 7月 9日
		日立ハイテクロノジーズ	令和元年 9月 27日

② 総会 第110回定時社員総会 平成30年6月13日（水）開催内容

開催日	出席状況	議決又は報告事項	議決・承認
令和元年 6月12日(水)	社員 総数 85個	第1号議案	承認
	出席 27個	平成30年度収支決算について	
	議決権行使書 44個	第2号議案	承認
	合計 71個	任期満了に伴う役員の選任について	

③ 理事会

令和元年5月15日（水）、7月17日（水）、10月2日（水）、令和2年3月11日（水）の4回開催し、主な審議事項及び報告事項は下記のとおり。

審議事項：平成30年度事業報告（案）について、平成30年度収入支出決算（案）について、平成31年度事業計画（案）について、平成31年度収入支出予算（案）について、第110回定時社員総会の開催日程について、事業計画推進に伴う実施計画（案）について、理事、委員の交代について等を審議した。

報告事項：各種事業・行事の開催報告、平成31年度中間決算、会員の退会の届け出、昭和薬貿ビル管理組合の平成31年度総会について等を報告した。

④ 委員会の活動状況は下記のとおり。

1. 総務委員会	2回	令和元年9月13日、令和2年1月14日
2. 財務委員会	1回	令和2年1月23日
3. 企画・広報委員会	2回	令和元年6月21日、令和2年1月16日
4. 薬事法規委員会	2回	令和元年9月9日、令和2年1月21日
5. 奨学生選考委員会	1回	令和元年7月17日
6. ふれあいガーデン運営委員会	1回	令和2年2月19日

⑤ 監査会 令和元年5月9日（木）

⑥ 合同協議会 令和元年2月18日（火）、役員・委員23名で議題「令和2年度事業計画と事業別収支予算について」を協議した。

以上

## 令和2年度収入支出予算

（単位：千円）

収入の部				支出の部			
科目	予算額	前年度	増減	科目	予算額	前年度	増減
入会金収入	100	100	0	事業費	34,810	35,047	△237
会費収入	20,000	20,300	△300	管理費	4,163	4,152	11
事業収入	18,818	18,785	33				
雑収入	458	458	0				
（経常収益計）	39,376	39,643	△200	（経常費用計）	38,973	39,199	△226
経常外収益	0	0	0	経常外費用	0	0	0
収入合計	39,376	39,643	△200	支出合計	39,973	39,199	△226



# 第 1 1 1 回定時社員総会開催

開催日時：令和 2 年 6 月 1 0 日（水）1 4：0 0 より

開催場所：東京都中央区日本橋本町 3 - 4 - 1 8 昭和薬貿ビル 2 階 東京薬事協会 会議室

報告事項：令和 元年度 事業報告について

協議事項：第 1 号議案：令和 元年度 収支決算について

：第 2 号議案：理事の選任について

第 1 号議案：令和 元年度 収支決算について（可決されました）

（単位：千円）

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	決算額	前年度	増 減	科 目	決算額	前年度	増 減
入会金収入	0	0	0	事業費	34,762	34,349	413
会費収入	18,720	19,038	△318	管理費	4,159	4,107	52
事業収入	17,127	17,521	△393				
その他収入	373	382	△9				
（経常収益計）	36,221	36,992	△771	（経常費用計）	38,921	38,455	466
経常外収益	0	0	0	経常外費用	0	0	0
収 入 合 計	36,221	36,992	△771	支 出 合 計	38,921	38,455	466

（単位：千円）

一般正味財産期末残高	当年度	前年度	増減
	98,006	99,540	△1,534

第 2 号議案：理事の選任について（可決されました）

「理事の選任について」の件は、1 0 名の理事から辞任の申し出があり、後任の理事として下記候補者の推挙がありました。

番号	候 補 者 名	
1	橋本 好晴	（持 田 製 薬）
2	原田 亮	（藤 永 製 薬）
3	三塚 健	（鳥 居 薬 品）
4	久城 直也	（アステラス製薬）
5	春名 博之	（大日本住友製薬）
6	青木 教至	（田辺三菱 製薬）
7	加茂谷佳明	（塩野義 製薬）
8	原田 功貴	（中 外 製 薬）
9	坂本 良之	（エ ー ザ イ）
1 0	浅場 泰仁	（第 一 三 共）

## 第166回令和元年度下期薬事講習会

日 時 令和2年2月21日（金）14：00～16：40

場 所 東京薬業健康保険組合 薬業健保会館6階講堂

演題・講師

① 東京都における製造販売業調査について～GVP調査を中心に

東京都健康安全研究センター広域監視部薬事監視指導課 医薬品第一区担当 細田 拓矢 氏

② 毒物劇物製造業・輸入業の申請について～事務移管を中心に

東京都健康安全研究センター広域監視部薬事監視指導課 薬事審査担当 主任 芝野 ゆう 氏

③ 環境水中の医薬品について

東京都健康安全研究センター薬事環境科学部 環境衛生研究科 主任研究員 小杉 有希 氏

## 令和元年度 第2回奨学金贈呈式

当協会は公益事業の一環として平成25年度から奨学金給付事業を行っております。

本奨学金給付制度は東京都内の薬学部在籍し、将来社会に貢献しうる人材を育成することを目的として、医薬品産業に興味のある奨学生を選考しております。令和元年度第2回奨学金贈呈式は令和2年3月18日に実施いたしました。



卒業の挨拶をする浦田さん



岩城会長を囲んで記念撮影

### 【訃報連絡】

長年、当協会の理事としてお世話になりました藤永敏之様が5月3日に病気の為お亡くなりました。享年83才でした。ここに故人のご冥福をお祈りし、謹んでお知らせいたします

### 薬事協会報

発行 公益社団法人 東京薬事協会

〒103-0023 東京中央区日本橋本町3-4-18 昭和薬貿ビル

電話 03-3279-1300 FAX03-3242-1994

URL : <http://www.yakujikyo.or.jp>

E-mail: [kusuri@yakujikyo.or.jp](mailto:kusuri@yakujikyo.or.jp)